

II-4

黒ショウガ由来メトキシフラボン混合物の安全性評価

○大桑（林）浩孝¹⁾，藤田 貴則¹⁾，河田 拓也¹⁾，中野 長久²⁾，太田 富久³⁾

1) 日本タブレット株式会社， 2) 大阪府立大学地域連携研究機構 生物資源開発センター

3) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

【目的】

ショウガ科植物-黒ショウガ (*Kaempferia parviflora*) はタイが原産で、その根茎は現地で民間薬として様々な疾患に対して利用されている。この黒ショウガから有効成分としてメトキシフラボンが同定され、機能性について報告されている。黒ショウガ 80%エタノール抽出物の 70%エタノール溶離部に 6 種類、99.5%エタノール溶離部に 5 種類のメトキシフラボンが含まれることを確認した。今回、99.5%溶離部に含まれる 5 種類のメトキシフラボン混合物の安全性について、検討した。

【方法】

被験物質投与をマウスに 28 日間反復投与し、体重変化・血液学検査・臓器重量測定・血液生化学検査を実施した。また、被験物質による変異原性の確認のため、マウス小核試験を実施し、小核誘発作用について検討した。以上 2 種類の試験により安全性を評価した。

【結果】

28 日間反復投与試験においては、体重変化・血液学検査・臓器重量測定・血液生化学試験において被験物質による有意な毒性は示されなかった。マウス小核試験においては陰性の結果が得られた。

【結論】

被験物質である 5 種類のメトキシフラボン混合物による 28 日間反復投与試験において異常が認められなかった。また、マウス小核試験において生体に対し、変異原性を有する可能性はないと考えられた。以上のことから、被験物質は安全性の高い食品素材であると考えられた。